

KOCHI 2023 ROTARY 2024 CLUB SINCE 1937



世界に希望を生み出そう
2023-24年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3555回 2023年8月8日 2023年8月22日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。天気予報を見ていると温暖化の影響か、台風の動きも昔とは全然違い、そんな方向に行くのという、想像できないコースで進んでいます。我々が若いときは、大体が土佐湾沖を通るのが台風の決まりきったコースでしたが、近年は瀬戸内海や日本海側を通ったり、随分と変化しています。



台風シーズンは、工事現場で、高層ビルの足場のシートを大急ぎで外したり、木造住宅の棟上げのときなどに雨に降られると大変で、建設業でいうと、台風は厄介な相手です。

1970年、私はまだ高校生でしたが、土佐湾台風がありました。この三翠園の前の坂を水が越境して、高知市内、帯屋町の商店街も全て浸水したことを覚えています。その後、1998年、いわゆる98豪雨と言われる豪雨で、今度は大津や

介良の方が浸水しました。高知は浸水対策、大雨対策が進み、高知市は1時間雨量77ミリまで対応が可能という町づくりができています。しかし、全国のほとんどの町は1時間雨量40～50ミリ対応で設計されていますので、処理能力が少なく、ニュースで見ているもこのぐらいの雨でこんなになるのと思ったりします。

10日からは、よさこい祭りが始まります。会員さんの中には、よさこい祭りに関わっている方も多いと思いますが、熱中症などには十分と気をつけて町を盛り上げていただけたらと思います。

少し先のことですが、高知RCのOBで東京におられる方との交流会を、東京で行うように企画しています。11月10日の予定ですが、詳細は中田由季会員にお尋ねください。

来週はお盆休みで休会です。



■ 本日のプログラム [8月22日]

ゲストスピーチ
シナプソロジーアドバンスインストラクター
橋田 奈津氏
「脳から健康づくり～楽しくイキイキ脳活性化～」

会 長	中 澤 陽 一
副 会 長	中 島 和 代
幹 事	細 田 長 司
副 幹 事	入 交 英 太
会報責任者	小 林 達 司

● **ロータリーソング** 「我らの生業」

● **今週のピアノ曲** 「パリは燃えているか」 「日立の樹～この木なんの木～」
「いい日旅立ち」

ピアノ演奏：宮地公美子会員



● **幹事報告**

- ・ガバナー事務所他、地区事務所は8月10日～16日まで、市内クラブ事務局は10日から14日まで夏季の休みです。
- ・国連支援募金へのお願いの案内をボックスに入れてあります。
- ・先週の理事会の議事録は、22日の例会時にお配りします。



● **お客様**

米山記念奨学生 シティ ログトゥル ファディラさん

● 米山記念奨学生 シティ ログトゥル ファディラさんに奨学金をお渡ししました。

● **ゲストスピーチ**

**ミュージックチャイルドに出会って
～音楽療法士という生き方～**

同志社女子大学学芸学部音楽科助教

ミュージシャン・音楽療法士 鈴木 琴栄 氏

私は、音楽療法士という仕事を20年以上やっています。音楽には聞くだけでなく、演奏したりすることによって、慰められたり、励まされたり、身体を動かしたくなったりといった作用があります。私たち音楽療法士は、病や障害のある方々に対して、音楽の働きを用いて健康をサポートしていくという仕事です。



私が音楽療法士を目指した20年前は、日本では音楽療法の勉強はできませんでした。そこで、2001年9.11のテロがあった1週間前に渡米、私の留学生活が始まり、12年間ニューヨークにいた後、2017年に家族で土佐町に移住しました。私たちはIターンで、親戚が居るわけでもなかったのですが、友人が地域おこし協力隊の一員として土佐町に入っていて、土佐町は教育でまちおこしをしているところでもあったことから私も移住してきました。土佐町でたった一人の音楽療法士として、どうやって活動を始めようか模索しながら5年経って、本当にたくさんの人に助けられ、ご縁に恵まれて、今は大学で教える仕事もしています。この4月から、RKCで毎週金曜日12時から15分のラジオ番組も持つようになりました。また、ミュージシャンとしての顔であるライブ活動や、自己表現として曲を書いてお客さんを前に演奏をしています。

音楽というのは、旧約聖書にもダビデがサウルのうつ病を竖琴で癒やしたという記述があるように、古来から、人の病を癒すことは行われてきましたが、音楽療法として医療現場などで行われるようになったのは、第二次世界大戦後

のアメリカです。たくさんの兵士たちが帰還し、身体的なりハビリが必要な兵士たちもたくさんいたのですが、心の病、今PTSDと言われている心の傷が深くある人たちもたくさんいて、そこにどういふふうにあプローチしていったらいいのか、模索されていました。その頃は、病院にミュージシャンたちが赴いて、レクリエーションとして音楽を演奏していましたが、そうではなくて、対象者の心のケアの必要性が叫ばれて、もっと専門的に理解を深めたり、音楽をどういふふうにより意図的に使っていくか。学問としての専門性が高められていきました。

イギリスやアメリカでは早くから、大学で体験的に音楽療法を学ぶというカリキュラムが始まりました。日本では1997年、音楽療法学会が立ち上がり、大学のカリキュラムの整備が始まり資格化に向けての教育が行われています。アプローチとしてはいろいろあって、個人、グループ、短期・長期、聴くだけではなく歌ったり、楽器の演奏等々、言葉では引き出せない反応を音楽で引き出すことを試みています。使う曲も、皆さんが知っている馴染みの曲から即興音楽、対象者の方と、その場で曲を作るといったこともします。特に音楽の訓練などは必要なくて、その人が既に持っている潜在能力や機能の維持、回復というものを目指して、私たちが一生懸命、その人のニーズに合わせた音楽活動を、オーダーメイドで創って提供していきます。

現在は、日本でもだいたい音楽療法という言葉が広まってきて、医療現場、福祉の現場、高齢者施設、また教育の場面でも特別支援教育などにも入り込んでいます。赤ちゃんはお母さんのお腹の中にいるときから聴覚が発達していますので、お母さんの歌声に反応したり、乳幼児が成長していく課程で、言葉を習得する前に音楽的に子どもの反応を引き出して行って、そこから言葉を学んでいくことにも使われます。聴覚は人間の機能として、最後まで残っている機能だと言われているため、緩和ケアにも音楽療法が使われ



ています。

私は、ニューヨークのコロンビア大学の精神科で働いていました。そこには、お医者さんと音楽療法士、アートセラピストなどがチームを組んで考える、心のケアの考え方でコミュニティという、比較的新しい分野があります。向こうのお医者さんは、精神疾患になってから治療をするのでは限りがある。精神疾患になる前のコミュニティに自分たちが赴いて行って、必要としている家族に音楽やアートを通してサポートしていくことが必要だと言っています。ニューヨーク州では音楽療法士は、ソーシャルワーカーやカウンセラーなどと同等で保険が適用されますので、健常者でストレスを感じているOLやビジネスマン、カップルが一つの選択肢としてセラピーを受けに来ます。また、欧米では、病気になってからの治療という側面だけではなく、予防的な分野で音楽療法がかなり入り込んでいます。ただ、日本ではまだコミュニティに向いて行ったり、予防的な分野は進んでいません。

私は3歳からクラシックピアノを習っており、ピアニストになる夢はありましたが、やはり狭き門でした。小さいときはとても寡黙で、いつも母親の陰に隠れていた子どもでしたが、ピアノに向かうと悲しいとか嬉しい、ワクワクする感情などを音で表現できて、音の日記を付けていました。しかし、コンクールに出るとか、競争社会の中で音楽を愛することができなくなって、大学は法学部に入りました。そこでも、やはり法律は自分に合わないのではないかと思いつつ、大学のAVライブラリーで1冊の本「創造的音楽療法 クリエイティブミュージックセラピー」に出会います。その音源を奏でていた方が、アメリカ人の作曲家であり即興の達人である、ポール・ノードフさんでした。彼が、まだ音楽療法という言葉もない時代に、医師に頼まれて反応のない子どもに音楽で関わってくれないかと言われて使った音楽が、たま

たま即興音楽でした。そして、私とニューヨーク大学と一緒に勉強したクライブ・ロビンズ博士、この2人の音源をお聞きください。

この音源を聞いたとき、今まで音楽をやっていたのは何だったんだろう。音楽はここまで人の変化に寄り添っていけるんだと衝撃を受けて、この即興を用いた音楽療法を学びたいという一心で、ニューヨーク大学の大学院で、クライブ・ロビンズ博士の下で学びました。彼らは、「人は誰でも、子どもも大人も音楽に対して反応性がある。そこに働きかけていくことで、その人が既に持っている力を引き出していくことができる」と言っています。

2020年、海外に行かなくても、日本語でこのアプローチが勉強できるようにプログラムが創立され、名古屋音楽大学大学院でトレーニングが始まりました。その後、東京でもトレーニングが始まって、今第1期生が誕生しています。私は現在、音楽療法についての講義は大学や講演会などで行っています。何もないところから、どういうふうに生み出していくかというのは音楽そのものですし、道も既にできているものではなくて、1歩1歩踏み出していくことが道筋になっていくのかなと感じています。音楽で成長できる喜びを、多くの方と分かち合って、私も歩みを進めていきたいと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC	8月24日	ビアホール夜間例会(阪)	高知中央RC	8月24日	夏の家族夜間例会(城)
高知西RC	8月25日	ロータリー休日(三)	高知東RC	8月30日	時間変更例会(阪)
高知西RC	9月 1日	ロータリー休日(三)	高知北RC	9月 4日	月見家族合同夜間例会(三)
高知南RC	9月14日	例会場変更(阪)	高知西RC	9月15日	創立記念夜間例会(三)
高知RC	9月19日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	9月19日	ロータリー休日(星)
高知南RC	9月21日	例会場変更(阪)	高知中央RC	9月21日	秋分の日振替の為休会(城)
高知ロイヤルRC	9月26日	月見夜間例会(星)	高知南RC	9月28日	例会場変更(阪)
高知中央RC	9月28日	お月見夜間例会(城)	高知西RC	9月29日	ロータリー休日(三)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (星)…OMO7高知by星野リゾート

ニコニコ箱 【敬称略】

- 新谷 竜司 四国ガスの新谷です。いつも大変お世話になっております。以前にご紹介いたしました弊社の新サービス、1ドリンクサブスク型サービス「ノミヨル」を今月8月1日より開始いたしました。月額550円で各加盟店にてドリンク1杯が毎日無料となるサービスです。詳細は本日配布のチラシをご覧ください。また、引き続き、加盟店も募集しておりますので、ご紹介いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 武樋 泰臣 } 十分なことができませんでしたが33会の幹事を3名が終了いたしました。総会では新幹事さんから花束のお気遣いもいただきまして、本当にありがとうございました。新しい世代の素敵な幹事さんで、ますます楽しい33会をどうかよろしく願いいたします。感謝を込めてニコニコします。
- 岡 亮助 }
中澤 清一 }
- 水野 大樹 妻の誕生日に素敵なお花を手配いただきありがとうございました。
- 田岡 弘久 妻の誕生日に素敵な花をありがとうございました。
- 西山 俊彦 久しぶりに週報に写真を掲載していただきましたのでありがとうございました。
- 長井 啓三 先週の私の卓話では動画が流れず、お見苦しいところをお見せし申し訳ありませんでした。本日の例会前のピアノ演奏を宮地さんに無理をお願いして、「日立の樹～この木なんの木～」と「いい日旅立ち」を弾いていただきました。素晴らしい演奏をありがとうございました。ニコニコいたします。

【お詫び】前回週報のここに箱で掲載抜けがありました。
吉村会員の次に入るものでした。お詫びし下記に掲載させていただきます。

入交 章二 って、章二さんが言ったと、由季ちゃんがクレームしたようです。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
8月 8日	(-8)90	55	22	5	73%
7月25日	(-8)90	52	12	18	85%

● 累計額 [8月8日現在]

ニコニコ箱	132,000 円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	86,569 円	ポリオ募金	88,200 円
-------	-----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [8月29日]

ゲストスピーチ
モデル、女優、高知県観光大使
白田 久子 氏
「高知愛と、未来ある子供達の
笑顔に繋がる活動について」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>